

新世界遺産-その1「中国大運河」～浙江省等の江南地域を中心に～

People's Republic of China

1600年前に建設された「中国大運河」は、今もなお水上交通の要として利用されている世界最古の大運河です。

中華民族が世界に残した貴重な遺産であるこの「中国大運河」は、2014年の世界遺産委員会にて中国46件目の世界遺産として正式に認定・登録されました。

協力: 中国駐日本観光代表処



中国大運河とは?

中国大運河は、京杭大運河を含む世界で一番古く長い人工運河の総称で、万里の長城と並び中華民族の文化を象徴する遺産です。今回世界文化遺産として登録された大運河の全長は約1,011km。大運河は北京市、天津市と河北省、河南省、山東省、安徽省、江蘇省、浙江省の6省2市を通過し、海河、黄河、淮河、揚子江(長江)、钱塘江の五大水系と繋がります。遺跡構成箇所は58箇所におよびます。

代表的な運河ご紹介

地域や町ごとにその規模や表情も異なる運河ですが、昔から今日に至るまで中国の人々の暮らしを支えてきたことは、何ら変わりありません。そんな中国大運河の代表的な箇所をいくつかご紹介いたします。



無錫運河 (江蘇省南部、無錫市)



微山運河 (山東省西南部、済寧市)



蘇州運河 (江蘇省東南部、蘇州市)



台儿庄運河 (山東省南部、棗莊市)



天津楊柳青運河 (天津市西部)



常州運河 (江蘇省南部、常州市)



南潯運河 (浙江省北部、湖州市)



寧波運河 (浙江省北東部、寧波市)

浙江省の省都 杭州

中国八大古都のひとつに数えられる浙江省の省都 杭州は、マルコ・ポーロに「世界で最も美しい都」と称されたことでも知られています。

上海の南西約150kmの場所に位置し、高速鉄道を利用すれば上海からは最速約45分で到着可能です。周辺には、杭州一の見どころともいえる世界遺産「西湖」のほか、毎年中秋のころに大逆流が起こることで知られる「銭塘江」、魯迅の故郷で中国を代表する酒の名前にもなった町「紹興」など見どころがたくさん。もちろん杭州市内にも靈隠寺や六和塔などに代表される歴史的建造物や各種博物館、テーマパーク等々、数多くの観光スポットがあります。



紹興老街



世界遺産「西湖」



銭塘江の大逆流

今回、杭州では、6つの遺産地点、5つの河道、合計11箇所が遺跡構成箇所として登録されています。

富意倉、鳳山水城門遺跡、橋西歴史街区、西興過塘行埠頭、拱宸橋、広濟橋の6箇所の遺産地点、杭州塘段、江南運河杭州段、上塘河段、杭州中河-龍山河、浙東運河主線の5つの河道が登録されています。

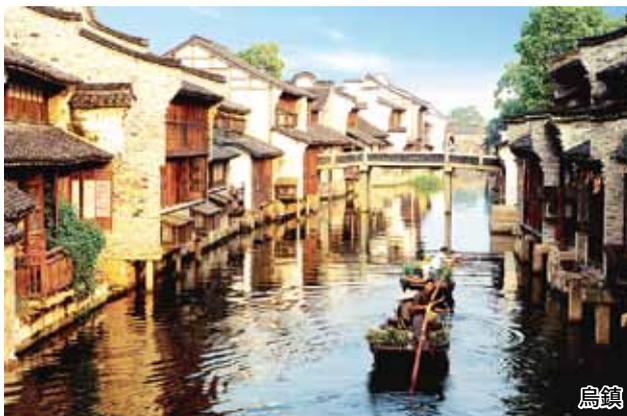
水路に囲まれた町「烏鎮」、「西塘鎮」

浙江省、江蘇省、上海周辺は江南水郷といわれ、至る所に水路に囲まれた町があります。

浙江省にも、そのような古鎮が多く見られ、代表的なものに「烏鎮」、「西塘鎮」などがあります。



古鎮 (水路に囲まれた町のようす)



烏鎮



西塘鎮